

開催報告

第41回地域づくり団体全国研修交流会 栃木大会

見ざる言わざる聞かざるじゃあ
もったいねえ！

〜ごでらんねえ

栃木県

開催日程

令和7年
11/7(金)

[午後]分科会(県内13会場)

11/8(土)

[午前]分科会(県内13会場)

[午後]全体交流会
(ライトキューブ宇都宮)

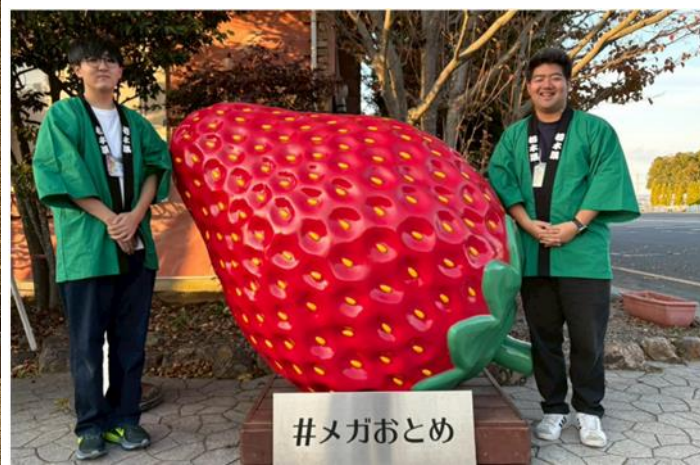
11/9(日)

[午前]全体交流会
(栃木県総合文化センター)





令和7(2025)年11月7日(金)～9日(日)の3日間、
 栃木県内で「第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会」を開催しました！
 (御参加いただいた方は、ありがとうございました！)



第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会の概要について

1 大会の目的

全国の地域づくり団体や行政関係者が一堂に会し、地域づくりに資する全国レベルの研修や情報交換を行うとともに、栃木県の多彩な地域づくりを全国に発信することを通して、県内外の地域づくりネットワークの強化・活性化を図る。

2 主催

地域づくり団体全国協議会

第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会実行委員会（※）

※分科会を実施する14市町の地域づくり団体と栃木県で構成

3 後援

総務省、（一財）地域活性化センター、（公財）栃木県市町村振興協会

4 主な参加者

全国の地域づくり団体・行政関係者・教育機関等

5 テーマ

見ざる 言わざる 聞かざるじゃあ もったいねえ！ ～こでらんねえ栃木県～

6 日程及び内容



とちまるくん

日程	区分・場所	内容
令和7(2025年) 11月7日(金) ～8日(土)	分科会 (県内13地域)	・参加者が県内各地域にわかれ、特色ある取組を現地で体感 ・地域づくり活動の担い手同士による交流会、意見交換 ・参加者：145名（+県内関係者）
8日(土・夜)	全体交流会 (ライトキューブ宇都宮)	・全参加者による交流会 (本県の食や郷土芸能等でおもてなし) ・参加者：199名
9日(日)	全体会 (栃木県総合文化センター)	・各分科会からの活動報告等 ・参加者：190名程度

大会テーマ

「**見ざる 言わざる 聞かざる**じゃあ もったいねえ！ ～**こでらんねえ**栃木県～」



- 地域づくりの取り組みを紹介するだけでなく、
地域づくりの前提となる「**地域の特徴**」「**地域の魅力**」も参加者に味わっていただく。
(座学だけでなく、**まちあるき**や**体験活動**などを積極的にプログラムに取り入れる。)

とちぎの慣習・ことば集

～のこしていきたい つたえていきたい とちぎ^{じん}人の想い～

7 のこしていきたい つたえていきたいことば

こでらんない

〈意味〉

たまらない、すばらしい
た堪えられないほどよい

こでらんないまる～!



〈こんなときに使います〉

- 温泉に入って一言
「ああ、こでらんねえ。」
- おいしそうな料理を一口
「このお肉、こでらんない!」
- 明日から夏休み、
「大好きな本がたくさん読める!
こでらんねえ。」

感激したときに使われる言葉で、いろいろな場面で用いられます。

大会テーマと趣旨

Theme & Purpose

THEME

見ざる言わざる聞かざるじゃあもったいねえ！

～ こでらんねえ 栃木県 ～

見

見つける

栃木に脈々と息づく多彩な地域資源を、
全国の眼差しを通して再発見する。

語

語り合う

現場のプレイヤーと参加者が、垣根を
越えて本音で語り合う場を創出する。

繋

繋げる

県内外の地域づくりの担い手を結び、
明日からの実践へとつなげる。

※ 日光東照宮「三猿」に着想を得たテーマ。栃木の魅力を「見て・語って・聞いて」全国へと開いていく決意を込めて。

プログラム設計の特徴

Program Design Philosophy

DESIGN PHILOSOPHY

会議室では 得られない 学びを。

地域の現場で汗をかくプレイヤーと、参加者が直接対話し、手を動かす。栃木大会は「視察」を超えた「体験と共創」の場を目指しました。

01 手を動かす体験プログラム

そば打ち・ロクロ・木工・植樹など、五感で地域に触れる時間を全分科会に組み込み。

02 現場プレイヤーとの直接対話

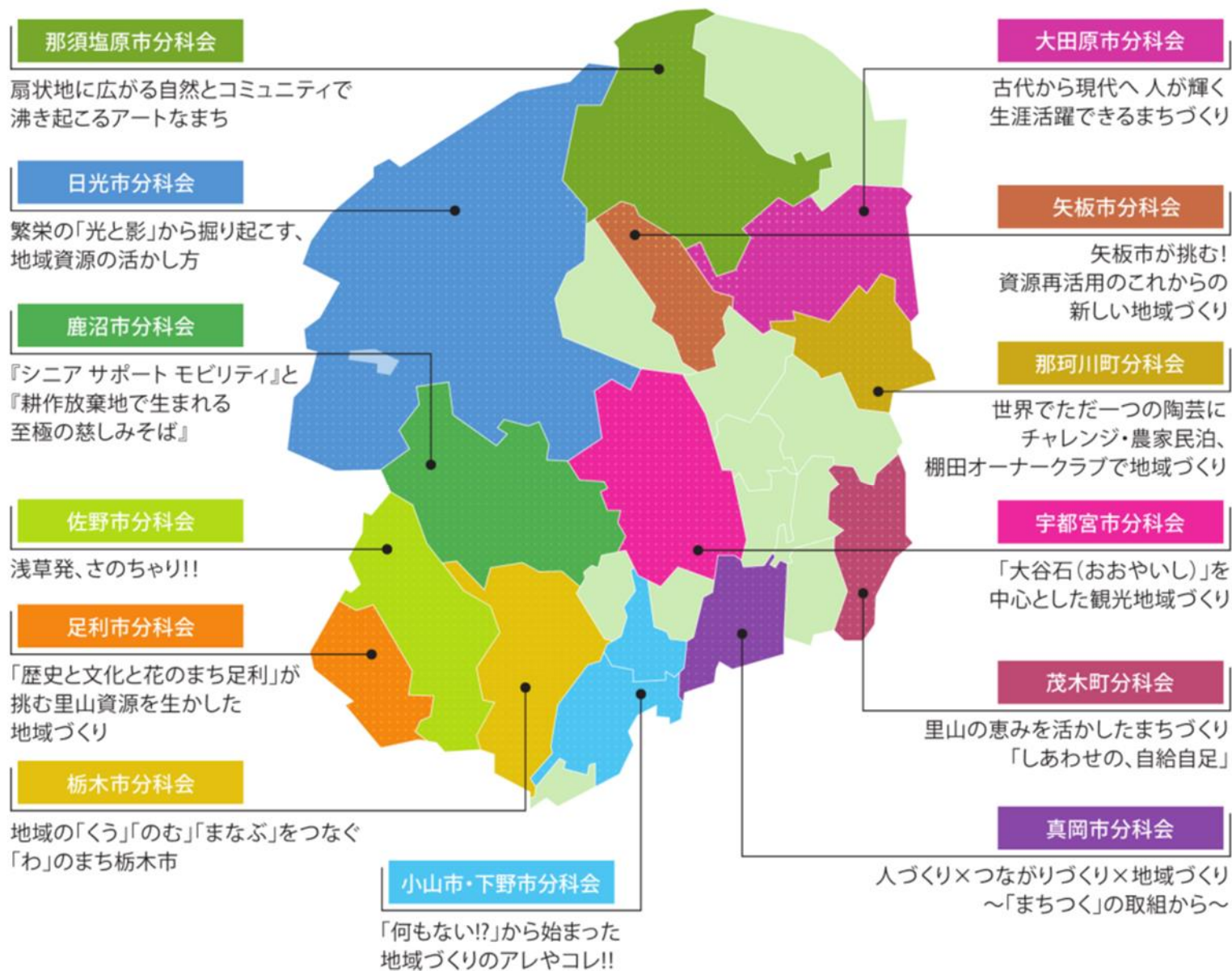
実行委員・地域団体・自治体・民間事業者が一体となり、生の課題と工夫を共有。

03 明日からの実践につなぐ設計

学びを各地域へ持ち帰り、最終日の全体会で再び集約・共有する循環構造を構築。

大会プログラム 分科会（11/7～8）

栃木県内13地域に分かれ、それぞれの地域における地域づくりの取り組みを紹介しました。



大会プログラム 分科会（11/7～8）①

第1分科会 宇都宮市

「大谷石（おおやいし）を中心とした観光まちづくり」



- ・ 石材（大谷石）の採掘地として発展してきた大谷地域において「観光のまち」として人を呼び込むための取り組みを紹介

第2分科会 足利市

「歴史と文化と花のまち足利」が挑む里山資源を生かした地域づくり



- ・ 足利市の歴史や文化などを活かした活動や、里山エリアにおける地域資源の掘り起こしによる新たな地域づくりの取り組みを紹介

第3分科会 栃木市

地域の「く」「のむ」「まなぶ」をつなぐ 「わ」のまち栃木市



- ・ 江戸情緒の残る「蔵の街」周辺を中心に、合計10団体、高校生から80代までの市民による地域づくりの取り組みを紹介

大会プログラム 分科会（11/7～8）②

第4分科会 佐野市

浅草発、さのちゃり！！



- ・佐野市北部の中山間地域において、自転車をツールに地域の活性化と魅力発信を行う取り組みを紹介

第5分科会 鹿沼市

『シニアサポート モビリティ』と『耕作放棄地で生まれる至極の慈しみそば』



- ・高齢者の移動困難解消のため行われている住民協働の送迎サービスの取り組みを紹介
- ・耕作放棄地の再生、そば栽培、そば店開設等の取り組みを紹介

第6分科会 日光市

繁栄の「光と影」から掘り起こす、地域資源の活かし方



- ・足尾地域における産業遺産（足尾銅山）の活用や繁栄の影で失われた森林を再生する取り組み等を紹介
- ・世界遺産「日光の社寺」などの観光地に隠れがちな「門前町」のまちづくりを紹介

大会プログラム 分科会（11/7～8）③

第7分科会 小山市・下野市

「何もない!？」から始まった 地域づくりのアレやコレ！！



- ・「暮らしやすいが、これといったものが何もない」と言われる地域において、地域資源を見直して行う新たな魅力づくりの取り組みを紹介

第8分科会 真岡市

人づくり×つながりづくり×地域づくり ～「まちつく」の取組から～



- ・地域の大人、高校生、大学生たちが「自分たちが住みたいまちをつくる」ために行う市中心部のまちづくりの取り組みを紹介

第9分科会 大田原市

古代から現代へ 人が輝く 生涯活躍できるまちづくり



- ・子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらずすべての人が日常的に関わることができる「ごちゃまぜの地域づくり」の様子を紹介

大会プログラム 分科会（11/7～8）④

第10分科会 矢板市

矢板市が挑む！ 資源再活用のかこれからの新しい地域づくり



- ・ 廃校を活用したキャンプ・宿泊施設、元書店を活用したシェアオフィス・工場跡地を活用した林業施設など、様々な「資源再活用」の取り組みを紹介

第11分科会 那須塩原市

扇状地に広がる自然とコミュニティで沸き起こるアートなまち



- ・ 県道369号線沿いの様々な施設が連携して実施するアートを活かしたまちづくりを紹介

第12分科会 茂木町

里山の恵みを活かしたまちづくり 「しあわせの自給自足」



- ・ そばの栽培により耕作放棄地の解消と地域内での雇用確保を果たした取り組みなど、里山の恵みを活かした地域課題解決の取り組みを紹介

大会プログラム 分科会（11/7～8）⑤

第13分科会 那珂川町

世界でただ一つの陶芸にチャレンジ・農家民泊、棚田オーナークラブで地域づくり



- ・「日本で最も美しい村」連合に加盟した地区における里山の美しい景観を活かした地域づくりの取り組みや地域に根ざした陶芸の文化を紹介



分科会終了後（11/8（土）の夕方）には、全参加者がバスで宇都宮市に移動

大会プログラム 全体交流会（11/8（土）18時～）

栃木県の食や郷土芸能の実演などを交えながら、全参加者が一堂に会し交流を行いました。



大会プログラム 全体会（11/9（日）10時～）

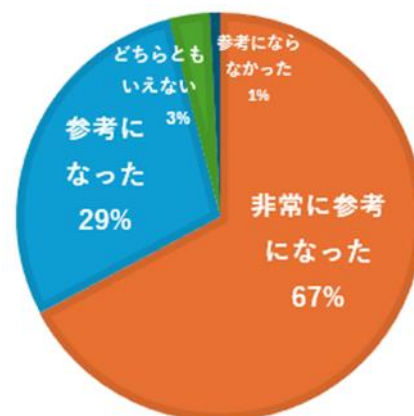
各分科会からそれぞれが実施した内容を御報告いただきました。
また、次回開催権である長野県から、令和8年度大会のPRをいただきました。



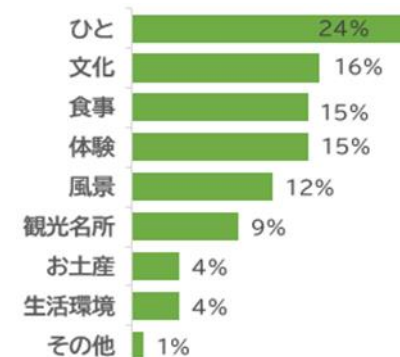
参加者からのアンケート結果①

分科会

分科会の内容をご自身の活動の参考になりましたか？

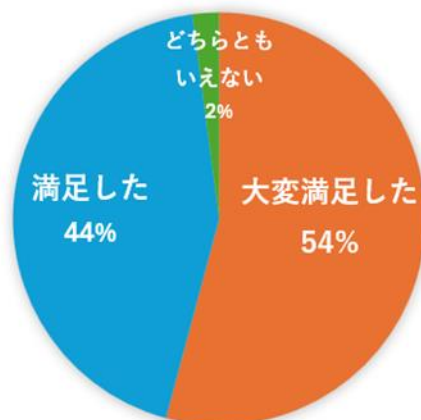


分科会で訪れた地域について魅力的に感じた点を教えてください。
(複数回答可)



全体交流会

全体交流会の内容はいかがでしたか？

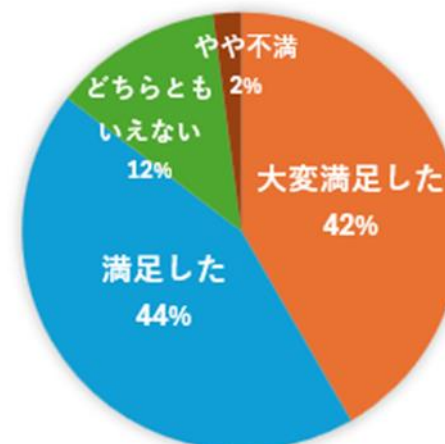


全体交流会で印象に残った点を教えてください。
(複数回答可)



全体会

全体会の内容はいかがでしたか？



参加者からのアンケート結果②

自由意見(抜粋)

- これまで栃木は「いちごの産地」「日光があるところ」くらいしか知りませんでした。今回 **普段の観光では知ることができないディープな魅力**を見せていただき、すっかりファンになりました。地元へ帰り、こうした地域の見せ方を、小さくてもいいからツアーにしていきたいと思いました。
- 栃木県の印象はなかったが、今回参加させてもらってメチャメチャ好きになりました。**今度は違う地域にも行ってみたい**と思います。
- 実行委員会の皆さんによる企画運営にも感謝いたします。
まさに地域づくりは「人」なり。**魅力的な人が集う会場全体が熱気に溢れていました。**
- 県内の**地域づくり団体の方々の熱い想いに触れる事が出来た**事が何より良かった。
- **地域に持ち帰って、地域資源を見直し磨き上げ、一緒に盛り上げていきたい**と思います!!

「現場の熱量」「持ち帰れる具体性」 → 数字には表れない大会の本質的価値



実行委員会
副委員長
林 大輔さん

私も兵庫県出身ですが、栃木に来る時、栃木県がどこにあるかも分かりませんでした。

しかし、今はすごく栃木県のことが好きです。

ちなみに聞きますけど、昨日今日で栃木県や真岡市のことが好きになった方、手を挙げていただいてもいいですか？ 地域づくりには、すごく課題が沢山あったり、悩みがあったりということを昨日今日で共有されたと思います。その解決であったり、ヒントになるものをそれぞれの分科会で学んだと思いますが、結局その中で私が思うことを1つお話しさせていただくと、**自分の地域のことが好きになるかどうか**が**1番大事だ**と思うんです。



大会では、栃木県の「好き」「熱」を皆様にお伝えできたと考えています！

実行委員・受入側の所感

Voices from the Hosting Side

“

当たり前だと思っていた
「地域の魅力や課題」の価値を、
全国の真剣な眼差しを通して
私たち自身が再発見できた。

栃木大会実行委員会

KEY TAKEAWAYS

01 再発見の喜び

外からの視点が、地域に眠る価値を可視化してくれた。

02 受入側の成長

準備過程そのものが、自分たちの地域を磨き直す
機会となった。

03 誇りの醸成

14市町の取組を全国に提示できた経験が、
新たな自信に。



地域づくり団体？
県の所管課は？

地域づくり団体とは・・・

- ・ 熱量をもって、自分の地域を「良くしよう」と活動している方々
- ・ 活動分野は多種多様であり、栃木大会においても様々な切り口がありました。



観光



地域おこし協力隊
経験者



歴史



景観・まちづくり



地域交通



廃校利用



アート



耕作放棄地再生



協働



福祉



グリーンツーリズム



スポーツ

様々な取り組みを実施しているプレイヤーの話を聞くことができますので、地域づくり担当課だけでなく、ぜひ、様々な部局のご担当者様に全国大会を御紹介くださいますようお願いいたします！

次期開催地への助言

Passing the Baton to Nagano Prefecture

栃 木 ▶▶▶ 長 野

01 迎える側こそが、最も成長できる

大会準備は決して楽な道のりではありません。しかし、全国の仲間を迎え入れるそのプロセス自体が、地域を磨き上げる最大のチャンスです。「やらされ仕事」ではなく「自分たちの地域を再定義する機会」と捉えてください。

02 ありのままの「リアル」を見せる

成功事例だけを綺麗に並べる必要はありません。現在進行形の課題、泥臭いプロセス、試行錯誤の真っ最中の姿こそが、全国の仲間にとって最も価値のある学びとなります。背伸びをせず、長野の素のままを見せてください。

03 「点」ではなく「面」で迎える

県内の複数地域・複数団体を巻き込むことで、準備段階から県内のネットワークが強化されます。一過性のイベントで終わらせず、大会後に残る地域内の関係性こそが、最大のレガシーとなります。

◇ 長野県ならではの素晴らしい大会となることを、栃木県実行委員会一同、心より期待し応援しております。 ◇

— CHAPTER 終

まとめ — 関わってくださったすべての方へ

Closing & Acknowledgements

見ざる言わざる聞かざるじゃあ、もったいねえ。

こでらんねえ栃木県を、全国の皆さまと共に味わえた3日間でした。

DURATION

3

日間

AREAS

14

市町

PARTICIPANTS

145

名

CONNECTIONS

∞

出会い

THANK YOU

ご参加・ご協力いただいた145名の皆さま、そして栃木の地で歓迎してくださった県内すべての関係者の皆さまへ
— 心より、感謝申し上げます —

第 41 回

地域づくり団体全国研修交流会 栃 木 大 会

見ざる言わざる聞かざるじゃあもったいねえ！ ～こでらんねえ栃木県～

そして、次の地域へ。

栃木大会実行委員会